

いのちの大切さについて考える

夏休みを前に、7月第1週は「宮崎県いのちの教育週間」とし、学校や関係機関などが連携して、県下一斉で「いのち」について考える取組が推進されました。飢肥中学校では、「いのちの理由」(作詞・作曲 さだまさし)の映像を各学級で視聴し、改めて自分や他人のいのちの大切さや一人一人が必要とされていることについて考える時間を作りました。また、沖縄の慰霊の日に放映された小学校2年生の児童が作った詩の朗読の様子も全学級で視聴して戦争について振り返る機会としました。



黙想の時間～寿太郎侯の言葉を胸に～

今月のノーチャイム週間と同時に朝自習の前に一分半ほど、小村寿太郎侯の言葉の朗読を3年生の山之口万結さんと ALT のクリス先生に頼み、G線上のアリアに乗せて黙想の時間として流しています。短い時間ですが、寿太郎侯の言葉を聴きながら心を落ち着けて朝自習に取り組む構えを作っています。 ※日本語朗読後に須崎先生が英訳したものをクリス先生が朗読してくれました！

もし私に誇るべきものがあるとしたら、それはただ「誠」という言葉に集約されるであろう。

つまるところ、学問や同胞との付き合いでも、また将来のことを考える場合でも、この「誠」の心を忘れずに貫く覚悟でいるのだ。

本校の先生の紹介をします パート3

社会の先生です。いつ見てもとても丁寧な授業をしています。また、男子テニス部の顧問、ICT 担当として、本校のために頑張ってくれています。

2年担任 川崎先生

少々のことでは慌てない、皆からの信頼も厚い学年主任です。数学の先生ですが、美術の授業、さらには美術部顧問といろんなジャンルで活躍されている先生です。

2年副担 永山先生

本校の生徒指導を一手に引き受けて奔走しています。様々なアイデアと実行力そして情熱を兼ね備えた飢肥中の大黒柱です。陸上部の副顧問でもあり頼れる存在です。

2年副担 須崎先生

第73回宮崎県中学校総合体育大会・第67回宮崎県吹奏楽コンクール

7月16日(土)～17日(日)に剣道、柔道、ソフトテニス(県総合運動公園他)が実施されました。(結果は表にあります) また、7月17日(日)には県吹奏楽コンクールがありました。会場はチケットのもぎりを各自でやるなど、厳重な感染対策の中、生徒たちは市民文化ホールにて全員参加(これが立派！)で素晴らしい演奏をしてくれました。そして、7月23日(土)～24日(日)は陸上(県総合運動公園)が開催されます。コロナウイルス対応で最後まで気を抜けませんが、生徒達が練習の成果を発揮できるステージに上がれることを願います。特に3年生は自己ベストを目指して頑張ってください。

